

愛知県に自生するキノコ類 (第一報)

南 川 幸・平 野 年 秋・塩 谷 つ ね 子

Larger Fungi growing in Aichi Prefecture (Part 1)

By

M. MINAMIKAWA, T. HIRANO and T. ENYA

は じ め に

キノコ類はわが国ではタケ・クサビラ (古名) ・コケ・ナバ・モタセ・ミミなど、諸外国では mushroom (英・米), schwamm (独), champignon (仏), 芝栴・覃・蘑菇 (中国) などと称している。キノコ類は主として味覚と芳香を賞でられて、またエルゴスリンなどの給源として食用に供されるのをはじめ、薬用として活用されている。さらに最近ハエトリシメジ *Tricholoma muscarium* よりトリコロミン酸 Tricholomic acid なる呈味物質が発見されたのをはじめ、その他医薬効果のある種も発見され広く関心がもたれるようになってきている。

わが国における食用利用は文献によれば仲哀天皇の熊襲征伐の時筑紫の香椎宮に御滞在中、シイの枯木に発生したシイタケを献上した。その味を賞でられ神社名とされたとある。このように食用とした歴史は古い。しかし往時食用に供されていた種は現在より少なく、これらは長年の間にわたる人々の経験から次第に多くの種が利用されるようになったのであろう。わが国で現在広い地域にわたって一般的に食用キノコとされている種はアンケート調査を実施した結果約50種ならずである。諸外国の利用状況を販売規則によって示される種をひろってみると、フランスでは約38種、ドイツでは46種ほどで、スイスは多く75種ほどとなっている。

古くより内外を通じ毒キノコによる中毒者の例は少ない。これらの多くは全くその識別を誤り、あるいは誤った食毒菌鑑別法を信じた結果によるものである。現在のところ残念ながら、毒キノコを手軽に見分ける方法はまず見当らないのが実情であり、俗間に伝わる幾つかの見分け方は信用がおけない。しかしわが国における有毒種はわずかに20~30種程度であって、昔毒キノコとされていた種も現在では食用とされるものもあり、あるいはわが国において有毒視されている種も、ある国の文献中には食用種と記載される種も少ない。わが国でヘルベル酸を含み猛毒キノコとされるシャグマアミガサタケはドイツでは解毒調理し、珍味料理として食用に供されている。中部地方内においてもツチカブリ・チチタケなどは捨てる地方が多いが、岐阜県高山市周辺の地方では一度水煮して食用に供しているなど各地で活用種は同じではない。このように将来研究の進展と共に明らかになってゆくことと思われる。筆者らは1956年より1971年にわたり愛知県に自生するキノコ類について、食用に供し得るか否かについて試験を行った。その結果は愛知県産キノコ類目録内に記号で掲げた。

愛知県のキノコ類発生環境

愛知県の地勢を大観すると南西部一帯に平野が広がり、北東部が丘陵・山地となり、長野県

に接する部位では茶臼山 (1,415m) を最高点に標高 1,000m 程度の 中山性の 山地地帯を形成している。

気候的には概して黒潮の影響下にあり一般的に夏冬の年較差は比較的小さく、年平均気温は 14.5℃ほどで平均気温は 1 月が低く 7, 8 月に最高を示し、降水量は 1, 2 月が少なく 3 月には気温の上昇に伴って増加し、4, 5 月と漸次増加して 6 月に入ると梅雨のため激増し、全体的に最多雨月は 6 月および 9 月で各地とも 200mm 以上に達する。10 月に入って雨量はおとろえ 11, 12 月となると激減して 1 月の状態に復してゆくもので、概して太平洋沿岸型の東海地方気候区に属するものである。しかし三河山地域は年平均気温が 11~14℃と低く、年較差日較差ともやや大きく内陸性を帯びている。さらに知多・渥美の両半島および三河湾に面した蒲郡・幡豆などの沿岸地域は最も温暖な気候区となっている。

愛知県下の森林帯を全般的に見れば沿岸地域にはタブ林、スダシイ林、崖地形域にはウバメガシを主とした硬葉樹林があり、内陸地域ではツブラジイ林となりこの林は平野・丘陵をへて標高 300~400m 内外の山麓までのぼっている。これより標高 850m 付近まで常緑カシ類の成立する山地となり、それ以上の奥三河の山地は冷温帯性葉樹林のブナノキ・ミズナラを優占種とする落葉広葉樹林となっている。また鳳来寺山、段戸山など一部山頂にはツガ・モミを優占種とする針葉樹林が残存発達している。このように森林帯の見地からみると暖温帯の常緑広葉樹林と冷温帯性の落葉広葉樹林とがおよそ年平均気温 12~13℃の地域で相接し、暖温帯落葉広葉樹林の形成は認められず西南日本の太平洋型気候下にある森林帯といえよう。しかし東西交渉の要地として早くより開けた本県の現存の植生は大部分人為の影響にあり、二次的に発達したアカマツ林やコナラ・クリ・アベマキなどを主とした落葉広葉樹林が多く、沿岸部には天然または造林によるクロマツ林も発達している。また本県の東北の山地にスギ・ヒノキなどの植林地が多く分布している。さらに草原としては奥三河・豊川東部の山地、矢作川溪流部にスキ型草原がみられ東北部の高地、知多半島丘陵部などにササ型草原が発達している。

愛知県に発生するキノコ類の食毒試験及び調査法

現在あの種は食用であり、この種は有毒種で注意せねばならぬ猛毒種だ。または美味で秋をつける種など判別して利用している。これらの判別種は昔から人々が食膳にのぼして失敗し、あるいは美味に舌づつみをうつなど経験により明らかにしたもので、いいかえれば貴重な人体実験の結果といえよう。まずこの意味において筆者らは広く各地方にアンケートによる調査を実種施して、これを科学的に整理し、愛知県に自生する種について第 1 段階としてリストを作成した。アンケート調査にあたっては著名産地へは筆者らが現地に赴き、写真およびその地方における方言名を記入して種の誤認をさけると共に、発生季には林地で、現地の識人より直接聞き取り調査を行なった。第 2 段階に入り、食・毒の明らかな種を除き（ほんの一部にしぼった）本県に自生するキノコの各種をラッテに給飼して動物実験を行なった。なお動物実験の結果は人体においても決して同じ結果だとは考えず、これらの全資料より検討して慎重に判断した。なお筆者ら自からも一部食味試験を行なった。

次の美味種に関して消化程度の試験をラッテに給飼して排泄された糞に関して、検鏡により形態の観察し追求した。なおこれらラッテ給飼用の飼料はせんいを含まぬ食品を用い、デンブ 65%, カゼイン 25%, 塩類 4%, コンオイル<ビタミン E を含む>, ビタミン A・D・B 群などを混和したものを用いた。これらの試験結果を第 7 表の目録中に記載し、本地方愛知県の主な発生種について明らかにした。

調 査 結 果

記号は特に美味種は◎，食用に適するものは○，食用に不適なものは△，有毒種は×，特に猛毒種は※，食毒研究中のものは□をもって記載した。なお記号の前に幼とあるは若い個体が食用に適するという意味である。

- | Basidiomycetes | Gastromycetales | Phallaceae |
|---------------------------------------|-------------------|--|
| 担子菌綱 | フッキン目 | スッポンタケ科 |
| 1) <i>Dictyophora indusiata</i> | キヌガサタケ | 矢作川流域シズワセ橋辺 (メダケ林) ・春日井市道樹山 (竹林) ◎ |
| 2) <i>Mutinus bambusinus</i> | キツネノエフデ | 犬山市善師野 (コナラ林) △ |
| 3) <i>Phallus impudicus</i> | スッポンタケ | 富山村大谷上 (雑木林) ・春日井市定光寺 (朽木) △ |
| | Clathracea | アカカゴタケ科 |
| 4) <i>Pseudocolus schellenbergiae</i> | サンコウタケ | 音羽町宮路山 (雑木林) |
| 5) <i>Lindera bicolumnata</i> | カニノツメ | 春日井市細野 (芝生) ・名古屋市東山 (路辺草地) △ |
| | Lycoperdaceae | ホコリタケ科 |
| 6) <i>Lycoperdon perlatum</i> | ホコリタケ | 豊橋市多米朝倉川堤防 (草地) ・松平町日影 (草地) 幼 ○ |
| 7) <i>L. pyriforme</i> | タヌキノチャブクロ | 下山村小松山麓 (雑木林) ・名古屋市千種区東山 (雑木林) 幼 ○ |
| 8) <i>Lasioephaera nipponica</i> | オニフスベ | 新城市庭野 (田畔) ・春日井市道樹山 (山路辺一径38cm) 幼 ○ |
| 9) <i>Astraeus hygrometricus</i> | ツチグリ | 名古屋市東山 (アカマツ矮低木林) ・守山区 (山路辺) △ |
| 10) <i>Calvatia craniiformis</i> | ノウタケ | 旭村東萩平 (コナラ林) ・東栄町振草溪谷 (アカマツ混じた雑木林) 幼 ○ |
| | Tulostomataceae | ケシボウズタケ科 |
| 11) <i>Battarea japonica</i> | コウボウフデ | 設楽町寒狭山麓 (雑木林) △ |
| | Calostomataceae | クチベニタケ科 |
| 12) <i>Calostoma japonicum</i> | クチベニタケ | 藤岡村大岩 (山路裸崖地) ・額田町切山 (ガレ場) ・音羽町宮路山 (アカマツ林裸崖地) △ |
| 13) <i>Astraeus hygrometricus</i> | ツチグリ | 足助町筈ガ岳 ・岡崎市新居 (山路辺) ・春日井市道樹山 (アカマツ林) ・半田市板山 (土崖) △ |
| | Sclerodermataceae | ニセショウロ科 |
| 14) <i>Pisolithus tinctorius</i> | コツブタケ | 尾張旭市保短大校内小川辺 (草地) △ |
| 15) <i>Sclerodema aurantium</i> | ニセショウロ | 稲武町野入 (アカマツ林路傍) △ |
| | Rhizopogonaceae | ショウロ科 |
| 16) <i>Scleroderma cepa</i> | タマネギモドキ | 名古屋市瑞穂区 (庭先) ・名古屋市千種区東山 (路傍) × |
| 17) <i>Pisolithus tinctorius</i> | コツブタケ | 瀬戸市片草 (アカマツ林内荒地) ・赤羽根町高松 (クロマツ砂地林) △ |

- 18) *Rhizopogon rubescens* ショウロ 鳳来町浅間山麓 (アカマツーコナラ林) ・春日井市道樹山 (アカマツーツツジ林) ・猿投町猿投岩屋堂 (アカマツ林) ○

Agaricales Russulaceae

ハラタケ目 (マツタケ目) ベニタケ科

- 19) *Lactarius camphoratus* ニセヒメチチタケ 藤岡村石畳 (雑木林) △
- 20) *L. chrysorheus* キチチタケ 設楽町段戸裏山 (雑木林) ・春日井市道樹山 (アカマツーコナラ林) ・犬山市入鹿池辺 (アカマツーコナラ林) ○
- 21) *L. hatsudake* ハツタケ 稲武井山区有林 (雑木林) ・犬山市八曾山麓 (アカマツ林) ・石巻山 (アカマツ林) ・額田町本宮山 (雑木林) ・松平町六所山 (同) ・猿投町三国山 (同) ・赤羽根町高松 (クロマツ林) ・常滑市 (クロマツ林) ○
- 22) *L. porninsis* カラマツチチタケ 足助市寮比曾山 (カラマツ林) △
- 23) *L. piperatus* ツチカブリ 足助町茶臼山麓 (雑木林) ・瀬戸市片草 (同) ・春日井市道樹山 (アカマツ林) ・東栄町振草溪谷 (雑木林) ○
- 24) *L. subiperatus* ツチカブリモドキ 旭村閑羅瀬 (雑木林) ・稲武町月ヶ平 (雑木林) △
- 25) *L. torminosus* カラハツタケ 足助出来山 (シラカンバ混生林) △
- 26) *L. subvellerus* ケシロハツモドキ 作手村御岳山・猿投山麓 (雑木林) ○
- 27) *L. vellerus* ケシロハツタケ 尾張旭市保短裏山 (アカマツ林・犬山市入鹿池辺 (アカマツーコナラ林) △
- 28) *L. vlolascens* ウズハツ 設楽町大名倉・渥美町福江 (雑木林) 乳状液を洗い落す ○
- 29) *L. laeticolorus* アカモミタケ 設楽町段戸裏谷 (モミ・ツガ林) ○
- 30) *L. volemus* チチタケ 豊根牧之島・猿投町猿投山 (雑木林) ・音羽町宮地山 (同) ・設楽町寒狭山 (同) ・渥美町福江山田 (シイ林) ○
- 31) *Russula densifolia* クロハツモドキ 渥美町福江山田泉福寺叢 (シイ林) ・春日井市定光寺叢 (シイ・カシ林) ○
- 32) *R. bella* ニオイコベニハツ 額田町毛呂 (コナラ林) ・新城山浅間山麓 (雑木林) △
- 33) *R. cyanoxantha* カワリハツ 豊根村茶臼山川宇蓮 (雑木林) ・小原村田代 (同) ○
- 34) *R. sanguinea* チシオハツ 春日井市道樹山 (アカマツ林) ○
- 35) *R. delica* シロハツ 津具村茶臼山 (モミ林) ○
- 36) *R. emetica* ドクベニタケ 足助町筈ガ岳山麓 (雑木林) △
- 37) *R. erythropus* ニオイベニハツ 下山村大林 (雑木林) ・犬山市善師野 (アカマツ林) ○
- 38) *R. flavida* ウコンハツ 春日井市道樹山 (雑木林) ・津具村茶臼山 △
- 39) *R. foetens* クサハツ 猿投町猿投山山麓 (雑木林) ・稲武町押山 (アカマツーコナラ林) ・足助町出来山 (シラカンバ混生林) △
- 40) *R. lepida* ヤブレベニタケ 渥美町福江町 (シイ林) ・新城市浅間山麓 (雑木林) ○
- 41) *R. metachroa* イロガワリシロハツ 松平町炮烙山 (アカマツ林) ・岡崎市新居 (アカマツ多い雑木林) △
- 42) *R. nigricans* クロハツ 豊根村茶臼山川宇蓮辺 (コナラ林) ・東栄町振草溪谷 (雑木林) ・津具村茶臼山 (ブナ・ミズナラ林) ○

- 43) *R. pectinatoides* ニセクサハツ 猿投町猿投山 (シイ・カシ林) △
- 44) *R. densifolia* クロハツモドキ 春日井市定光寺 (シイ・カシ林) ・猿投町猿投岩屋堂
(同) ○
- 45) *R. rubescens* イロガワリベニタケ 東栄町尾々 (雑木林) ・足助町寧比曾山 (カラマツ林) △
- 46) *R. senecis* オニナクサハツ 小原村大洞 (雑木林)
- 47) *R. subnigricans* ニセクロハツ 春日井市定光寺 (シイ・カシ林) ・足助町香嵐溪飯盛市中腹 (マラガシ林) ※
- 48) *R. vesca* チヂレハツタケ 額田町闇苅溪谷 (ミズナラ混生林) ・豊根村茶白山中腹 (ミズナラ林) ○
- 49) *R. aeruginea* クサイロハツ 足助町出来山 (シラカンバ混生林) ○
- 50) *R. virescens* アイタケ 額田町牧原 (コナラ林) ○
- Strobilomycetaceae オニイグチ科
- 51) *Boletellus florifomis* キクバナイグチ 足助町上八木 (コナラ林) △
- 52) *B. russellii* セイタカイグチ 猿投町猿投山 (シイ・カシ林) △
松平町六所山 (アカマツ林) △
- 53) *Haimiella japonica* ベニイグチ 旭村万町 (アカマツ林) ・藤岡村石畳 (アカマツ林) △
- 54) *Porphyrellus fusisporus* ヤシャイグチ 犬山市八曾山 (雑木林) ・小原村田代 (針・広混合林) ・春日井市道樹山 (シイ・カシ林) △
- 55) *Strobilomyces fusisporus* オニイグチ 猿投町岩屋堂 (アカマツ・コナラ林) ・富山村八岳山麓 (アカマツ林) ○
- Boletaceae イグチ科
- 56) *Boletus edulis* オオウラベニイロガワリ 津具村茶白山頂 (モミ林) ・富山村八岳山 (同) ○
- 57) *B. erythropus* ヤマドリタケ 津具村茶白山中腹 (ミズナラ林) ○
- 58) *B. luridus* ウラベニイロガワリ 東栄町振草溪谷 (アカマツ林) ○
- 59) *B. pulverulentus* イロガワリ 犬山市入鹿池辺林 (アカマツ林) ○
- 60) *Leccinum aurantiacum* キンチャマイグチ 春日井市道樹山 (雑木林) ○
- 61) *L. rugosiceps* アカヤマドリ 春日井市道樹山 (アカマツ林) ・犬山市善師野 (コナラ多いアカマツ林) ○
- 62) *L. scabrum* ヤマイグチ 足助町出来山 (シラカバ混生林) ・津具村茶白山 (雑木林) ○
- 63) *Phylloporus rhodoxanthus* キヒダタケ 松平町六所山 (雑木林) ○
- 64) *Pulveroboletus cramesinus* ヌメリコウジタケ 藤岡村石畳 (雑木林) ○
- 65) *P. auriflammeus* ハナガサイグチ 春日井市神谷 (雑木林) ○
- 66) *Gyroporus castaneus* クリイロイグチ 猿投町猿投岩屋堂 (シイ・カシ林) ・豊根村川宇蓮 (コナラ林) △
- 67) *Suillus bovinus* アミタケ 犬山市善師野 (アカマツ林) ・春日井市道樹山 (アカマツ林) ◎
- 68) *S. granulatus* チチアワタケ 猿投町勘八 (アカマツ林) ○

- 69) *S. grevillei* ハナイグチ 足助町寧比曾山 (カラマツ林) ○
- 70) *S. luteus* ヌメリイグチ 春日井市道樹山 (アカマツ林) ○
- 71) *S. aeruginascens* シロヌメリイグチ 足助町寧比曾山 (カラマツ林) ○
- 72) *Tylopilus neofelleus* ニガイグチモドキ 渥美町福江山田 (泉福寺叢シイ林) △
- 73) *T. virens* ミドリニガイグチ 春日井市定光寺 (シイ・カシ林) ・額田町牧原 (アカマツ林) △
- 74) *Xerocomus chrysenteron* キッコウアワタケ 新城市船着山 (雑木林) ○
- 75) *X. rubellus* コウジタケ 瀬戸市森林公園 (芝生) ・岡崎市新居 (草地) ○
- Gomphidiaceae クギタケ科
- 76) *Gomphidius roseus* オオギタケ 猿投町猿投山 (アカマツ林) ・犬山市善師野・春日井市道樹山 (アカマツ林) ・松平町六所山 (同) ・渥美町川尻 (クロマツ林) ◎
- 77) *G. rutilus* クギタケ 猿投町猿投山 (アカマツ林) ・富山村大谷上 (雑木林) ○
- Paxillaceae ヒダハタケ科
- 78) *Paxillus atrotomentosus* ニワタケ 名古屋市守山区 (アカマツ林・立枯れ木) ・春日井市道樹山 (アカマツ林地上) □
- 79) *P. pamuoides* イチョウタケ 春日井市森林公園 (マツ切株) ・名古屋市千種区覚王山 (古材)
- Rhodophyllaceae イッポンシメジ科
- 80) *Rhodophyllus murrayi* イッポンシメジ 松平町出来山 (雑木林) ※
- 81) *R. sinuatus* キイボカサタケ 額田町闇苅溪谷 (雑木林) ×
- 82) *R. rhodopolius* クサウラベニタケ 猿投町猿投山 (シイ林) ・犬山市善師野 (コナラ林) ※
- 83) *R. clypeatus* シメジモドキ 豊川市果樹園) ・名古屋市瑞穂区 (ソメイヨシノ 桜並木) ○
- Cortinariaceae フウセンタケ科
- 84) *Cortinariuills armatus* ツバフウセンタケ 足助町出来山 (シラカンバ混生林) ○
- 85) *C. aurantiofulvus* コガネフウセンタケモドキ 新城市船着山 (雑木林) □
- 86) *C. subalboviolaceus* ウスムラサキフウセンタケ 春日井市定光寺 (シイ林) ○
- 87) *C. bovinus* ササナミツバフウセンタケ 渥美町福江山田 (シイ林) ×
- 88) *C. cinnamomeus* ササタケ 春日井市道樹山 (アカマツ林) ・下山村小松 (雑木林) ○
- 89) *C. hemitrichus* シラガツバフウセンタケ 津具村面ノ木峠辺 (シラカンバ混生林) ・設楽町段戸山 (同) ○
- 90) *C. turmalis* オオツガタケ 設楽町段戸裏山 (モミ・ツガ林) ・津具村茶臼山 (同) ○
- 91) *C. pseudopurascens* フウセンタケモドキ 猿投町猿投山 (アカマツ林—シイ・カシ混生部) ○
- 92) *C. pholideus* ササクレフウセンタケ 豊根村新野峠 (シラカンバ混生林) ・設楽町段戸裏谷 (モミ・ツガ林・ミズメ樹下) ○
- 93) *C. vibratilis* キアブラシメジ 春日井市道樹山 (アカマツ林) ○
- 94) *C. elatior* アブラシメジ 犬山市善師野 (アカマツ—コナラ林) ・足助町出来山 (シラカンバ混生林) ◎

- 95) *Galerina heterocystis* フユノコガサ 設楽町寒狭山麓(雑木林多湿地の蘚苔上)・稲武町野入(矢作川辺) △
- 96) *Gymnopilus junonius* オオワライタケ 渥美町一色(シイ・ヤブツバキ林)・津具村茶臼山(ミズナラ林) ※
- 97) *Rozites caperatus* ショウゲンジ 春日井市道樹山(アカマツ林)・名古屋市守山区東谷山(同)・猿投町猿投山(同) ◎

Strophariaceae モエギタケ科

- 98) *Naematoloma fasciculare* ニガクリタケ 榑原温泉(スギ植林)・松平町六所山(針葉樹林切株) ※
- 99) *N. sublateritium* クリタケ 猿投町猿投山(コナラの倒木・切株)・津具村木地山(落葉樹二次林) ○
- 100) *Pholita squarrosa* スギタケ 設楽町段戸裏山(雑木林)・津具村茶臼山(ミズナラ倒木) ○
- 101) *P. spumosa* キナメツムタケ 小牧市大山(雑木林埋木) ○
- 102) *P. lubrica* チャナメツムタケ 犬山市善師野(アカマツ林)・春日井市道樹山(同) ○
- 103) *P. terrestris* ツチスギタケ 安城市福原(路傍草地)・飛鳥村竹ノ郷(田畔) ○
- 104) *Stropharia aeruginosa* モエギタケ 額田町闇苧溪谷(雑木林)・本宮山三角点(草地) □
- 105) *S. aurantiaca* カバイロタケ 稲武町野入(竹林)・豊田市矢並(畑周辺の草地) ○
- 106) *S. rugosoannulata* サケツバタケ 弥富町竹之郷(モミガラ上) ○

Bolbitiaceae オキナタケ科

- 107) *Agrocybe erebia* ツチナメコ 名古屋市千種区東山(山路辺)・日進町柿木(山路) ○
- 108) *A. praecox* フミズキタケ 名古屋市山崎川辺(草地)・足助町切山(路傍) ○
- 109) *A. semiorbicularis* ハタケキノコ 稲沢市(苗木畑)・三好町福谷(野菜畑) ◎
- 110) *Bolbitius coprophilus* オキナタケ 豊川市財賀(稲わら上)・東栄町長畑(刈草上) □
- 111) *Conocybe fragilis* ハタケコガサタケ 一宮市笹野(野菜畑)・赤羽根町池尻(花畑) △
- 112) *C. lactea* キコガサタケ 稲沢市(芝生上)・甚目寺町萱津(路傍) △
- 113) *C. tenera* コガサタケ 幡豆町鹿川(路傍)・安城市篠目(同)・藤岡村上川口(同) △

Coprinaceae ヒトヨタケ科

- 114) *Coprinus atramentarius* ヒトヨタケ 名古屋市守山区(路傍陰地の埋木)・木曾川町北宿(人家裏朽木) ○
- 115) *C. cindreus f. microsporus* ウシグソヒトヨタケ 高岡村北島(刈草上)・佐屋町大井(堤防草地) △
- 116) *C. comatus* ササクレヒトヨタケ 大府町米田(畑地)・木曾川町北宿(庭先) △
- 117) *C. disseminatus* イヌセンボンタン 日進町中根(人家陰地埋木) △
- 118) *C. micaceus* キララタケ 作手村彦坊山麓(コナラ切株) ○
- 119) *C. radians* コキララタケ 岩倉町北島(人家柿朽木) △
- 120) *Panaeolus subbalteatus* センボンサイギョウガサ 岡崎市高隆寺(野菜畑)・渥美町一色(花畑) △

- 121) *Psathyrella candolleana* イタチタケ 鳳来町浅間山麓 (コナラ林切株) ○
- 122) *P. gracilis* ナヨタケ 藤岡村石畳 (雑木林・落葉上)・蒲郡市三ヶ根山麓 (同) △
- 123) *P. hydrophila* ムササビタケ 猿投町猿投山 (雑木林朽木) ○
- 124) *P. velutina* ムジナタケ 安城市福原 (路傍)・飛鳥村稻荷 (草地) ○
- 125) *Phaeolepiota aurea* コガネタケ 津具村竜頭山山麓 (スギ植林) ◎
- Agariceae ハラタケ科
- 126) *Lepiota procera* カラカサタケ 稲武町野入 (竹林)・豊田市勘八峽 (竹林・常緑樹の小森) ○
- 127) *L. cristata* キツネノカラカサ 蟹江町大野 (ゴミ捨場)・三好町新家 (同) △
- 128) *L. rhacodes* カラカサタケモドキ 稲武町野入 (雑木林) △
- Amanitaceae テングタケ科
- 129) *Amanita agglutinata* フクロツルタケ 猿投町猿投山 (コナラ林) △
- 130) *A. caesarea* タマゴタケ 津具村茶臼山 (ブナ・ミズナラ林) ◎
- 131) *A. citrina* コタマゴテングタケ 春日井市道樹山 (コナラ林)・津具村川宇蓮 (雑木林) ※
- 132) *A. esculenta* ドウシントケ 渥美町和地 (クロマツ林ハイネズ部分)・武豊町長尾 (クロマツ林) ○
- 133) *A. farinosa* ヒメコナカブリツルタケ 犬山市入鹿池辺 (アカマツ林) △
- 134) *A. griseofarinosa* コナカブリテングタケ 豊橋市多米峠辺 (シイ・カシ林) □
- 135) *A. inaurata* テングツルタケ 作手村彦坊山麓 (コナラ林)・猿投町猿投山岩屋堂 (シイ林) ○
- 136) *A. agglutinata* フクロツルタケ 春日井市定光寺 (シイ・カシ林)・犬山市善師野 (コナラ林) □
- 137) *A. longistriata* タマゴテングタケモドキ 額田町毛呂 (雑木林)・下山村大林 (同) □
- 138) *A. muscaria* ベニテングタケ 設楽町段戸裏山 (シラカンバ混生林)・足助町出来山 (同) ※
- 139) *A. pantherina* テングタケ 春日井市道樹山 (アカマツ・コナラ林)・津具村茶臼山 (モミ林)・設楽町段戸山 (針葉樹のブナ混生部) ※
- 140) *A. pseudoporphyria* コテングタケモドキ 犬山市善師野 (アカマツ-コナラ林)・小原村田代 (雑木林) ×
- 141) *A. phalloides* タマゴテングタケ 新城市浅間山麓 (雑木林)・設楽町段戸裏谷 (モミ・ツガ林) ※
- 142) *A. rubescens* ガンタケ 稲武町野入 (アカマツ林)・旭村東萩平 (コナラ林) ○
- 143) *A. rubrovolvata* ヒメベニテングタケ 設楽町段戸山 (針葉樹林にブナ・ミズナラ・シズメ混生部) ×
- 144) *A. spissacea* ヘビキノコモドキ 津具村茶臼山 (ブナ・ミズナラ林)・日進町中根 (雑木林) □
- 145) *A. virgineoides* シロオニタケ 春日井市定光寺 (シイ林)・内津奥社 (同)・稲武町野入 (アカマツ-コナラ林) △
- 146) *A. spreata* ツルタケダマシ 下山村羽布 (雑木林) □

147) *A. vaginata* ツルタケ 犬山市善師野 (アカマツ林) ・額田町牧原 (コナラ林) ・津具村茶臼山 (ミズナラ林) ○

var. *fulva* カバイロツルタケ 小牧市大山 (雑木林) ・春日井市道樹山 (アカマツ林) ○

Tricholomataceae キシメジ科

148) *Armillariella mellea* ナラタケ 稲武町押山 (アカマツ林) ・足助町寧比曾岳 (カラマツ林) ◎

149) *Asterophora lycoperdoides* ヤグラタケ 春日井市東谷山 (雑木林一ツチカブリ上) ・渥美町福江 (シイ林一クロハツモドキ上) △

150) *Pseudohiattula stephanocystis* マツカサキノコモドキ 春日井市道樹山 (アカマツ林) ◎

151) *P. ohshimae* スギエダタケ (スギ植林)

152) *Clitocybe clavipes* ホテイシメジ 犬山市善師野 (アカマツ林) ・稲武町野入 (アカマツ林) ◎

153) *Baeospora myosura* ニセマツカサシメジ 足助町田振巴川頂部 (アカマツ林) ・犬山市善師野 △

154) *Filoboletus manipularis* アミヒカリタケ 赤羽根高松 (寺院タブノキ) △

155) *Laccaria laccta* キツネタケ 春日井市定光寺 (雑木林) ・額田町牧原 (コナラ林) ○

156) *L. amethystina* ウラムラサキ 春日井市道樹山 (アカマツ林) ○

157) *L. lepideus* マツオオジ 松平町炮烙山 (アカマツ林・雑木林混生部) ◎

158) *L. nuda* ムラサキシメジ 東栄町振草溪谷 (雑木林) ・猿投町勘八峡 (竹林) ◎

159) *L. subnuda* コムラサキシメジ 犬山市八曾山 (雑木林) ○

160) *Lyophyllum carboniarum* ヤケノシメジ 小原村大洞 (雑木林伐採跡一たき火跡?) △

161) *L. decastes* ホンシメジ 豊根村川字蓮 (コナラ林) ・猿投町勘八峡 (アカマツコナラ林) ◎

162) *L. sp.* ハタケシメジ 安城市福原 (野菜畑) ・春日井市大草 (人家裏庭)

163) *L. fumosum* シャカシメジ 犬山市入鹿池北 (アカマツ林) ・春日井市道樹山 (同) ◎

164) *Marasmius chamaecyparidis* ヒノキオチバタケ 足助町香嵐溪 (スギ植林地) ・松平町筈ガ岳 (アカマツ林) ・設楽町竜頭上 (ヒノキ植林地) △

165) *M. maximus* オオホウライタケ 小原町野原 (竹林) △

166) *M. purpureostriatus* スジオチバタケ 額田町本宮山 (雑木林落葉上) △

167) *M. siccus* ハリガネオチバタケ 松平町花沢 (雑木林の落葉上) △

168) *Melanoleuca verrucipes* ツブノシメジ 額田町闇苧溪谷 (雑木林) ○

169) *M. melaleuca* コザラミノシメジ 稲沢市 (苗木畑) (路傍) △

170) *Mycena fibula* ヒナノヒガサ 名古屋市緑区小坂 (庭先の蘚苔上) △

171) *M. polygramma* アシナガタケ 犬山市善師野 (アカマツ林落葉上・切株上) △

172) *Oudemansiella mucida* ヌメリツバタケ 設楽町段戸裏谷 (ツガ・モミ林の落葉樹朽木) ・豊根村茶臼山 (ミス・ナラ林朽木) ○

173) *O. radicata* ツエタケ 小原村大洞 (雑木林) ・犬山市入鹿池辺 (アカマツ林) ○

- 174) *Panellus stipticus* ワサビタケ 春日井市道樹山 (雑木林切り株) △
- 175) *P. serotinus* ムキタケ 津具村茶白山 (ブナ・ミズナラ林・雑木林倒木)・段戸裏谷 (モミ・ツカ林のブナ混生部) ○
- 176) *Phyllotopsis nidulans* キヒラタケ
- 177) *Pleurocybella porrigens* スギヒラタケ 足助町寧比曾岳 (スギ切り株)・設楽町段戸本谷 (スギ落枝) ○
- 178) *Pleurotus cornucopiae* タモギタケ 額田町闇苅溪谷 (カエデ類切り株)・猿投町猿投岩屋堂 (落葉樹株) ○
- 179) *Pseudohiatula oshimae* スギエダタケ 旭町田津原 (スギ植林)・榊原温泉 (同) △
- 180) *Schizophyllum commune* スエヒロタケ 名古屋市瑞穂区 (朽木)・有松町(捨て材) △
- 181) *Tricholoma flavovirens* キシメジ 犬山市八曾山 (アカマツ林)・猿投町岩屋堂 (アカマツ-コナラ林) ◎
- 182) *T. matsutake* マツタケ 犬山市入鹿池北・猿投町猿投山 (アカマツ林)・松平町天所山 (アカマツ林) ◎
- 183) *T. robustum* マツタケモドキ 富山村八岳山麓 (アカマツ林)・犬山市善師野 (アカマツ林) ◎
- 184) *T. sejunctum* アイシメジ 猿投町猿投山 (雑木林) ◎
- 185) *T. ustale* カキシメジ 豊根村川宇蓮 (コナラ林)・足助町香嵐溪 (クヌギ林) ×
- 186) *T. portentosum* シモフリシメジ 猿投町猿投山 (ツガ・モミ林-ブナ・ミズナラ混生部)・面ノ木峠 (シラカンバ混生部) ×
- 187) *Tricholomopsis rutilans* サマツモドキ 設楽郡段戸山 (モミ・ツガ林腐木)・額田町本宮山社叢 (スギ・常緑林内切株)

Hygrophoraceae ヌメリガサ科

- 188) *Hygrophorus calyptraeformis* アケボノタケ 猿投町猿投山岩屋堂 (雑木林)・勘八峽 (竹林)・額田町本宮山三角点 (草地) ◎
- 189) *H. leucophaeus* ブナヌメリガサ 津具村茶白山 (ブナを混じた部分)
- 190) *H. hypothejus* シモフリヌメリガサ 犬山市善師野 (アカマツ林)・幡豆町富好 (クロマツ林)・津具村茶白山 (モミ林) ○
- form. *pinetorum* フユヤマタケ 犬山市善師野 (アカマツ林・冬季)・尾張旭市保育短大裏山 (アカマツ林)・渥美町高松 (クロマツ林) △
- 191) *H. puniceus* ヒイロガサ 富山村八岳山 (草地)・津具村茶白山 (ササ原) ○
- 192) *H. russula* サクラシメジ 設楽町段戸山裏谷 (保存林ミズナラ混生部)・新城市船着山 (常緑林) ○
- 193) *H. subviolaceus* ウバノカサ 額田町闇苅溪谷 (蘚苔上) △

Aphylliphorales Mucronoporaceae ヒダナシタケ目 キコブタケ科

- 194) *Phellinus igniarius* キコブタケ 作手村西田原 (ヤシャブシ寄生)・小原村中切 (ヤマハンノキ寄生) △

Polyporaceae サルノコシカケ科

- 195) *Inonotus mikadoi* カウウツタケ 名古屋市瑞穂区 (サクラ街路樹に寄生) △
- 196) *Gycolomyces fuscus* ワヒダタケ 名古屋市守山区東谷山 (シイ寄生) △

- 197) *Coltricia perennis* オツネンタケ 東栄町振草溪谷 (雑木林) △
- 198) *Coriolus hirsutus* アラゲカワラタケ 足助町切山 (コナラ枯木) △
- 199) *C. versicolor* カワラタケ 瀬戸市森林公園 (カシ朽木) △
- 200) *Lenzites betulina* カイガラタケ 旭町牛地 (スギ枯木) △
- 201) *Cryptoporus vovatus* ヒトクチタケ 犬山市善師野 (アカマツ立枯) △
- 202) *Elfvigia applanata* コフキササルノコシカケ 設楽町段戸山 (カシ枯木) △
- 203) *Grifola frondosa* マイタケ 津具村茶臼山 (ミズナラ株元) ◎
- 204) *G. albican* シロマイタケ 設楽町段戸山 (ミズナラ林) ◎
- 205) *G. gigantea* トンビマイタケ 津具村茶臼山 (ブナ林) △
- 206) *Favolus accularius* アミスギタケ 額田町蘭苺溪谷 (植林) △
- 207) *Fomitopsis cytisina* ベッコウタケ 足助町神社前 (カシの生木株元・ブナ枯木) △
- 208) *F. pinicola* ツガサルノコシカケ 設楽町段戸裏谷 (モミ枯れ木) △
- 209) *Fomes fomentarius* ツリガネタケ 津具村茶臼山 (ブナ倒木) △
- 210) *Ganoderma lucidum* マンネンタケ 春日井市定光寺 (カシ切株)・阿久比町 (神社切株) △
- 211) *Polyporellus picipes* アシグロタケ 瀬戸市戸越峠付近 (雑木林) △
- 212) *Daedalea dickinsii* ホウロクタケ 作手村彦坊山麓 (アラカシ枯れ幹) △
- 213) *Trametes sanguinea* ヒイロタケ 足助町上八木 (伐採跡の切端に寄生)・名古屋市瑞穂区山崎川辺 (捨て木) △

Hydnaceae ハリタケ科

- 214) *Auriscalpium vulgare* マツカサタケ 犬山市善師野アカマツ林マツカサ) △
- 215) *Hydnum repandum* カノシタ 瀬戸市中品野 (雑木林)・額田町木下 (同) ○

Phylacteriaceae イボタケ科

- 216) *Boletopsis leucomelas* クロカワ 犬山市善師野 (アカマツ林)・猿投町猿投山 (アカマツ林) ◎
- 217) *Sarcodon aspratus* コウタケ 設楽町段戸高原 (コナラ林)・旭町牛地 (雑木林) ◎

Cantharellaceae アンズタケ科

- 218) *Cantharellus cibarius* アンズタケ 富山村八岳山 (コナラ林)・稲武町生駒山 (シイ・カシ林)・設楽町段戸山裏山 (ツガ・モミ林) ◎
- 219) *C. pallidus* シロアンズタケ 旭町牛地 (スギ・ヒノキ植林)・榊原温泉 (同) ○
- 220) *C. minor* ヒナアンズタケ 東栄町振草溪谷 (アカマツ林)・豊橋市多米峠 (シイ・カシ林) ○
- 221) *C. purpuraceus* オオムラサキアンズタケ 作手村彦坊山麓 (雑木林) ○
- 222) *C. floccosus* ウスタケ 豊田市勘八峽 (アカマツ林)・名古屋市守山区・設楽町段戸高原 (アカマツ林) ◎
- 223) *C. cinereus* アクイロウスタケ 松平町六所山 (アカマツ林) △
- 224) *C. cinnabarinus* ベニウスタケ 小原村田代 (雑木林) ○
- 225) *C. infundibuliformis* シキイロウスタケ 春日井市道樹山 (雑木林) △
- 226) *Craterellus aureus* アカラッパタケ 春日井市道樹山 (アカマツ林) ○
- 227) *C. cornucopioides* クロラッパタケ 松平町出来山 (アカマツ林)・瀬戸市戸越峠付近

- (雑木林) ○
- 228) *C. odoratus* シロアンズタケモドキ 足助町切山(雑木林)・津具村白鳥山(同) ○
- Clavariaceae ホウキタケ科
- 229) *Clavaria purpurea* ムラサキナギナタタケ 春日井市道樹山(アカマツ林) ○
- 230) *C. vermicularis* シロソウメンタケ 設楽町大名倉(雑木林) △
- 231) *Clavulinopsis fusiformis* ナギナタタケ 音羽町宮地山(雑木林) △
- 232) *C. helvola* キソウメンタケ 名古屋市守山区(雑木林) △
- 233) *C. miyabeana* ベニナギナタタケ 小原村田代(雑木林)・猿投町猿投岩屋堂(雑木林) △
- 234) *Clavariadelphus pistillaris* スリコギタケ 松平町杉木(雑木林)・名古屋市瑞穂区(捨木) △
- 235) *Lentaria mucida* シラウオタケ 稲武町月ヶ平(アカマツ林・朽木) △
- 236) *Clavulina cristata* カレエダタケ 下山村大林(雑木林) △
- 237) *Ramaria botrytis* ホウキタケ 犬山市善師野(アカマツ林)・春日井市道樹山(同) ◎
- 238) *R. formosa* ハナホウキタケ 犬山市八曾山(雑木林) ×
- 239) *R. flava* キホウキタケ 額田町本宮山(雑木林) ×
- 240) *R. apiculata* チャホウキタケモドキ 足助市比曾山(アカマツ林・朽木) △
- 241) *R. aurea* コガネホウキタケ 新城市浅間山麓(雑木林) ×
- Tremellales Tremellaceae シロキクラゲ目 シロキクラゲ科
- 242) *Tremellodon gelatinosum* ニカワハリタケ 猿投町猿投山(アカマツ林・朽木) ○
- Auriculariales Auriculariaceae キクラゲ目 キクラゲ科
- 243) *Auricularia polytricha* アラゲキクラゲ
- 244) *A. auricula-jude* キクラゲ 小原村田代(針・広混合林)・稲武町野入(クワ畑) △
- Ascomycetes Pezizales 子囊菌綱 チャワマタケ目
- 245) *Helvella elastica* アシボソノボリリュウ 猿投町猿投山岩屋堂(シイ・カシ林) □
- 246) *H. macropus* ナガエノチャワソウタケ 津具村茶白山(雑木林) □
- 247) *H. ephippioides* ナガエノケノボリリュウ 富山村八岳山(モミ林)・犬山市八曾山麓(アカマツ林) ○
- 248) *Morchella conica* トガリアミガサタケ 瀬戸市戸越峠付近(雑木林)・藤岡村石畳(アカマツ林) ○
- 249) *M. esculenta* アミガサタケ 春日井市道樹山(アカマツ林)・名古屋市守山区(庭先) ○
- Pezizaceae チャワソウタケ科
- 250) *Aleuria aurania* ヒイロチャワソウタケ 瀬戸市森林公園(アカマツ林・裸地)・千種区覚王山(路傍) △
- 251) *Reziza vesiculosa* オオチャワソウタケ 音羽町宮地山(雑木林)・下山村大林(雑木林) ○
- Helotiales Geoglossaceae ビョウタケ目 テングノメシカイ科
- 252) *Spathularia clavata* ヘラタケ 足助町寧比曾山(カラマツ林) △
- 253) *Mitrula paludosa* カンムリタケ 足助町筈ガ岳(雑木林)・下山村大林(雑木林) △

要 約

愛知県下の森林をはじめ、平野・丘陵帯に自生するキノコ類を1956年から1971年にわたって調査した結果について次のように報告を行なった。

1. 愛知県下で採取したキノコは255種(2変種)の多くにのぼった。さらにまた種名の決定していない種も多くあり、さらに今後追加される数が多いにのぼることと考えられる。
2. 目録は最近の科学的な自然分類法によって整理配列した。
3. リストには産地名・森林・丘陵帯林にあつては森林群落型、その他にあつては群落型名で発生物環境を記載した。
4. 食用種、有毒、猛毒などに関しても、アンケート調査による判別、動物実験などにより明らかにした。
5. 本県下には担子菌類 *Basidiomycetes* のマツタケ目 *Agaricales* が177種類、ヒダナシタケ目が60種、腹菌類 *Gasteromycetes* が18種を識別記載した。
6. きわめて美味しい食用キノコは25種あつた。

Summary

We have made researches after larger fungi growing in Aichi Prefecture from 1956.

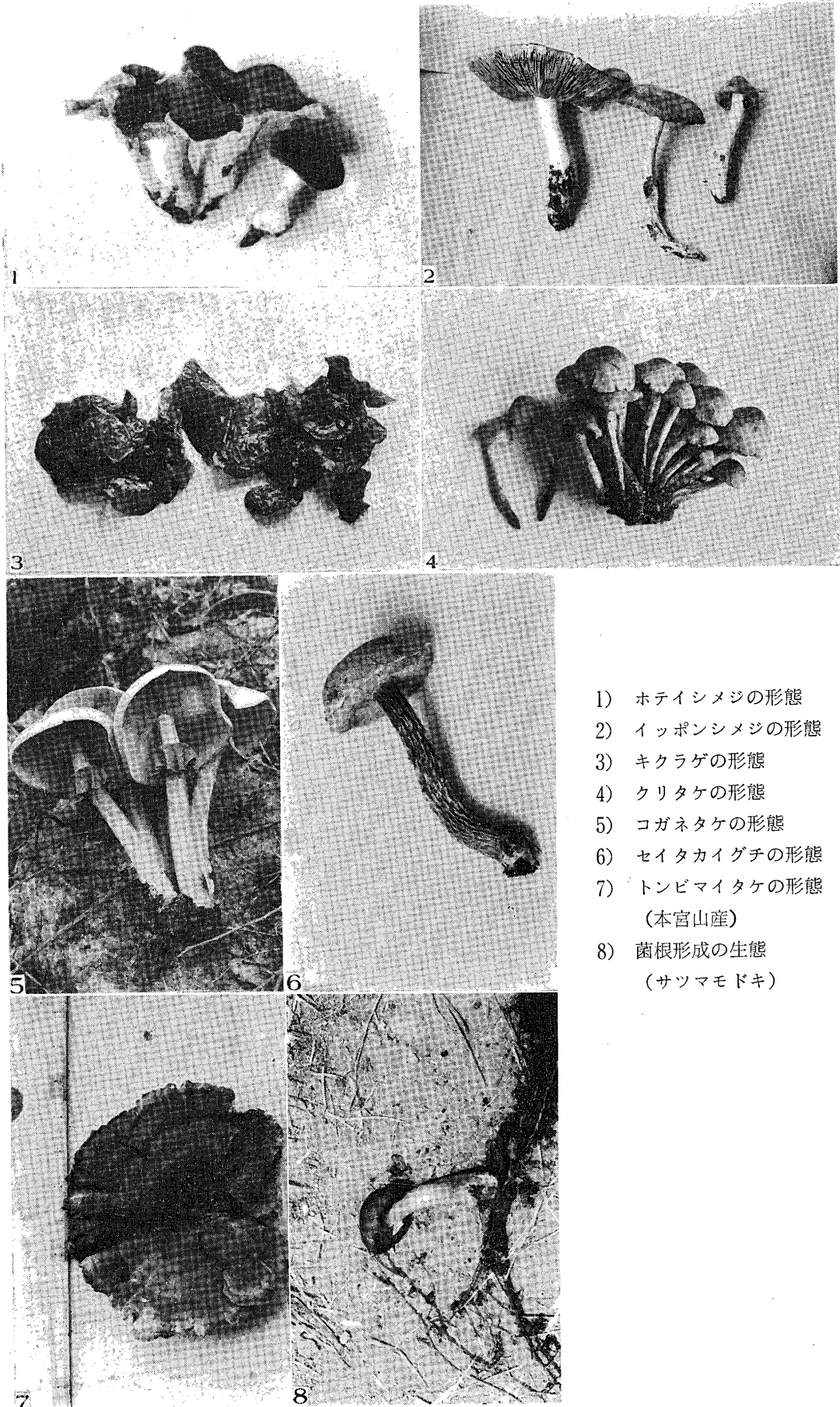
The results are as follows:

1. The number of fungi species collected in Aichi Prefecture are 430. But there are unknown fungi. It is cleared that a number of fungi growing on the little mountain districts in Aichi.
2. The list is written by latest natural classification method.
3. Esculent species and poisonous species cleared by questionnaire research and animal examination are written.
4. In Aichi Prefecture the number of species of *Agaricales* of *Basidiomycetes* are 177. *Gasteromycetes* are 18. *Aphyllphorales* are 60.
5. The number of *Ascomycetes* are 9.
6. The number of species of delicious esculent fungi are 25.

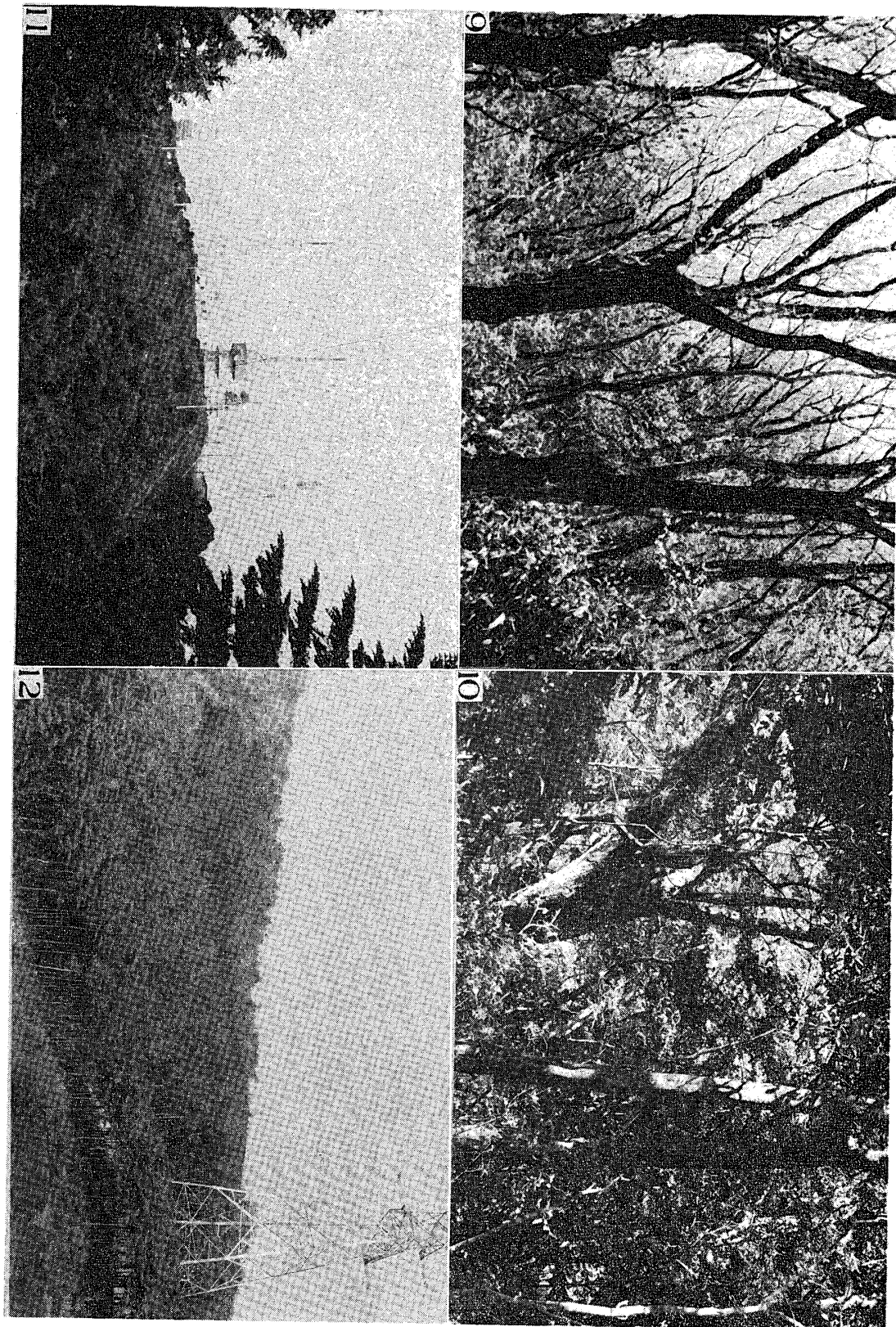
参 考 文 献

- (1) Boidin, I (1958): Essai biotaxonomique sur les Hydnes résupinés et les Corticies, Rev. Mycol. Mém. hors-serie 6.
- (2) Cooke W.B. (1956): The genus *Phlebia*. Mycologia, 48.
- (3) Fujita A und T. Ebihare, (1937): Zeitschr 290.
- (4) Heim, R (1957), : Les champignons d'Europe. I.
- (5) Hongo, T. (1959): The Agaricales of Japan. I. Mem. Shiga Univ., 9.
- (6) Imai. S. (1955-1956): Contributiones ad studia monographica Geoglossacearum II. Sci. Rep. Yokohama Nat. Univ., II. III. Ditto, 5.
- (7) Kobayasi, Y (1941): The genus *Cordyceps* and its allies. Tokyo Bunridai. 5.
- (8) 伊藤誠哉 (1955): 日本菌類誌 2, 4, 養賢堂.
- (9) 今関六也 (1959): 原色キノコ.
- (10) 今関・本郷(1957, 65): 原色日本菌類図鑑, 99~106, 同続 113~116, 保育社.
- (11) 川村清一 (1929~30): 原色日本菌類図鑑.
- (12) 松浦勇 (1935): 本邦原色茸類辞典.

- (13) Mass Geestranus, M. A. (1962) : Hyphal structures in Hydnums. I. Persoonia, 2.
- (14) 南川 幸(1962) : 三重大学農学部報告, 26.
- (15) ———(1963) : 同 上 , 27.
- (16) ———(1964) : 名古屋女子大学紀要, 10.
- (17) ———(1965) : 同 上 11.
- (18) ———(1965) : 日本家政学会第17回総会講演要旨.
- (19) ———(1966) : 同 上 第18回総会講演要旨.
- (20) ———(1966) : 名古屋女子大学紀要, 12.
- (21) ———(1967) : 同 上, 13.
- (22) ———等(1968) : 同 上, 14.
- (23) ———等(1969) : 同 上, 15.
- (24) ———等(1970) : 同 上, 16.
- (25) ———等(1970) : 飛騨地方のキノコ, 飛騨川の自然と文化, 自然篇.
- (26) ———(1970) : 文部省科学研究業績報告, 学術振興会.
- (27) ———等(1971) : 名古屋女子大学紀要 ,17.
- (28) ———等(1971) : 原色食品辞典, 建帛社.
- (29) 三浦・岩出・沢田(1935) : 日本林学会誌, 17, 11.
- (30) 三輪春雄(1938) : 醸造学雑誌, 16.
- (31) 宮吉・等(1940) : 農芸化学雑誌, 16.
- (32) 大谷吉雄(1968) : キノコ, 北陸館.
- (33) Singer, R. (1945). The Boletineae of Florida with notes on extralimital species. 1.
- (34) 清水大典(1968) : 原色キノコ全科.
- (35) 鷺 見(1932) : 理研彙報, 11.
- (36) ———(1938) : 同 上, 17.
- (37) Welden, A.L. (1954) : Some tropical American stipitate Stereums. Bull. Torrey Bot.



- 1) ホテイシメジの形態
- 2) イッポンシメジの形態
- 3) キクラゲの形態
- 4) クリタケの形態
- 5) コガネタケの形態
- 6) セイタカイグチの形態
- 7) トンビマイタケの形態
(本宮山産)
- 8) 菌根形成の生態
(サツマモドキ)



- 9) キノコ林の景観—コナラ・クリ型森林
- 10) 同一—シイ・カシ型森林
- 11) 同一—草原（本宮山三角点付近の草原）
- 12) 同一—アカマツ林の景観（宇利峠付近）